

IHIグループの経営資本

IHIグループは経営資本を活用し、社会課題の解決と持続的な成長を目指します。

	方針	インプット	現状認識	主な強化策
1  人的資本	「グループ経営方針2023」に連動した「グループ人財戦略2023」に基づき人的資本を強化しています。事業の変革と企業体質の変革を実現するために、「良い+強い」会社と従業員個人の「成長+幸せ」の両立を目指し、人財戦略を実行します。	※2025年3月期 ● 1人当たり収益 58.1百万円 ● 女性管理職比率(単体) 5.8% ● 女性役員比率(単体) 29.4% ● 博士号取得者数 300名 ● 1人当たり研修費用・時間 (40,432円、34.9H)	● 変革の実現には外部人財を獲得し、新たな知見や考え方を取り入れることが必要 ● 「バリューチェーンを創造する」企業への変革に向けて、従業員一人一人の行動変容が必要	● 積極的なキャリア採用の実施 ● 評価、処遇制度を「誰でも、いつでも、何度でもチャレンジできる」ものに改訂 ● キャリアチャレンジ制度、社内副業制度、セカンドジョブ制度(兼業制度)の導入 ● IHIアカデミーによる経営・専門人財の育成
2  知的資本	社会とお客さまの課題解決を目指し、新しい価値を継続的に提供していく技術開発に取り組みます。成長事業の拡大、育成事業での事業創出、中核事業の競争力強化を目指して、多様なパートナーと連携して、基礎研究から実用化までを推進します。	● 研究開発費 399億円 ● 特許保有件数 8,016件	● グローバルの厳しい競争環境を勝ち抜くために、最先端のエコシステムに身を置き、研究機関や企業との連携を強化することが不可欠	● 長期視点での技術革新に向けた研究開発支援制度の導入 ● 企業や研究機関とのオープンイノベーションを推進し、「強者連合」を構築
3  財務資本	キャッシュ創出力の強化を進め、財務基盤の拡充と株主還元のバランスを取りながら、持続的な高成長を実現する事業変革に向けた投資を積極的に進めます。株主還元に関しては、安定的な増配を目指します。	● 総資産 22,403億円 ● 資本合計 5,086億円 ● 有利子負債 5,147億円	● 受注高、売上収益、営業利益、当期利益の全てにおいて過去最高の実績を達成 ● キャッシュ・フローの創出に課題が残る	● 運転資本圧縮への意識改革 ● 戦略・業績進捗会議の開催による戦略と財務の一体運営

IHIグループの経営資本

	方針	インプット	現状認識	主な強化策
4  製造資本	製品・サービスを通じて、社会課題の解決と安全・安心で豊かな社会の実現を目指します。製品・サービスの安全および品質を最優先として、環境への負荷を最小限とし、従業員の安全に十分配慮した製造拠点を目指します。	● 設備投資 974億円 ● 工場数 6カ所	● 鶴ヶ島工場にて2026年度に新修理棟の稼働開始予定	● DX化による生産効率の向上 ● 成長事業におけるトランスフォーメーションセンターの設立
5  社会・関係資本	重要課題に、人権の尊重、お客さまとの関係強化、サプライチェーン・マネジメントの強化、地域社会との共存共栄などを掲げ、社会関係資本とのエンゲージメントを強化し、トップ主導で他国やその地域のステークホルダーとのエンゲージメントを実施しています。	● ビジネスパートナーとのリレーションシップ ● ステークホルダーとのエンゲージメント	● バリューチェーンの創造のために、さまざまなステークホルダーとのエンゲージメント向上が必要	● IHIグループ人権啓発推進委員会を人権DE&I委員会に改組 ● 人権インパクトアセスメントの実施(2022～2024年度) ● 人権の尊重に関する講演会を開催 ● サプライチェーン・マネジメントの強化策として、EcoVadis社と契約締結
6  自然資本	ESG担当役員を委員長とする環境委員会を設置し、工場や事業所における気候変動への対策、資源の循環や地球環境の保全について、審議・決定しています。主要な生産拠点到環境マネジメントシステムを確立し、環境管理レベルの向上に努めています。	● エネルギー消費量 2,218TJ ● 取水量 4,662千㎡	● Scope1、2排出量合計12,000t-CO₂e削減目標に対し、2024年度までに9,000t-CO₂eを削減 ● Scope3排出量の大部分を石炭火力発電用ボイラーが占める。ボイラーの新設工事終了により、2026年度以降は排出量が大幅に減少する見込み	● 燃料アンモニアによる燃料転換技術を活用したエネルギーランジション ● アンモニアを燃料とするガスタービン、航空機の電動化や燃料転換によるエネルギートランスフォーメーション ● CCUS(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)やメタネーション技術によるカーボンリユース
資本を生かす 企業文化	目指す姿 IHIグループには、人権の尊重を土台とし、多様性を重視する企業文化があります。この企業文化の下、社会課題を解決するビジネス構築に向けて、従業員には失敗を恐れず挑戦をすることを推奨しています。 強化策 ● DE&Iの自分事化 ● 社長と従業員との対話機会設定 ● 人権の尊重に関する社内講演会の開催 ● コンプライアンスの徹底 ● 安全・安心な職場づくり			